

教材事例書式

教材教具名 トーマス積木パズル	教科( 算数 )	
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 物の形状(色や形)に意識を向け、概念形成のもとになる力を養う。</p> <p>2 発達段階 操作することを通して数や量を認識する時期</p> <p>3 使い方</p> <p>穴の開いた積木を棒にさして重ね、トーマスの絵を完成させる。最後の1個だけ重ねる、2個重ねる、3個とも重ねる、上下の向きを変えた状態から始めるなど、児童の実態に合わせて取り組む。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>児童は興味をもって取り組んでいた。複数の児童に取り組ませたところ、あまり絵を見ていない児童、重ねる順、向きを間違ったことに気づきながらもどう直せばよいかわからない児童、正しい順、向きで重ねられる児童がいた。</p> <p>積木の数や並べ方を変えたり、関心のある絵や写真に変えたり、いろいろな工夫ができる。</p>		